

天王橋・新天王橋工事の現場見学会を実施しました！

国土交通省では震災復興事業として、国道45号の天王橋架替え工事と、三陸沿岸道路の新天王橋4車線化工事を宮城県石巻市の旧北上川沿いで施工しています。

この度、近接して橋梁下部工工事(天王橋)と橋梁上部工工事(新天王橋)の現場を同時期に見ることができる良い機会であるため、地元高校生を対象とした工事現場見学と体験学習を12月3日に実施しました。

実施日：平成26年12月3日(水)

見学者：宮城県石巻工業高等学校の生徒及び先生方38名(生徒35名)

実施場所：**国道45号天王橋、三陸沿岸道路新天王橋**(石巻市小船越二子南中地内)





午前 8 : 5 0

石巻工業高等学校前にて

現場見学会出発式

現場見学会前に校長先生からお言葉を頂戴し、出発です。



午前 9 : 4 0

工事現場前にて

工事現場に到着し、担当者から工事概要の説明を受けます。

午前10:00~12:00 2班に分かれて現場見学・体験学習

天王橋（下部工工事） 現場



場所打杭の見学



鋼管矢板井筒基礎の見学



基礎杭の鉄筋組立検査体験



コンクリートの圧縮強度推定体験

新天王橋（上部工工事） 現場



高力ボルトの締め付け体験



支承の構造見学



主桁架設状況見学



現場溶接の状況見学



午後 0 : 1 5

工事現場前にて

見学会終了後記念写真撮影

寒い中皆さんお疲れ様でした。
最後は笑顔で記念撮影です。

当日は寒波の影響で気温が低く、橋梁工事のため風も強く寒い状況でしたが、生徒の皆さんには真剣に現場見学・体験学習に取り組んで頂きました。本当にお疲れ様でした。

今回の現場見学・体験学習が、生徒の皆さんに少しでも土木の現場に興味を持って頂いたり、次のステップに進むための一助になれば幸いです。

【国道45号 天王橋】 橋梁耐震化に伴う架替えについて

■ 事業概要

昭和34年に架橋した天王橋は、竣工後55年が経過し部材損傷が著しく、かつ車道幅員が6.0mと狭小のため、車両の大型化に伴いスムーズな通行ができない状況にあります。また、東北地方太平洋沖地震では、橋桁の著しい損傷等を応急復旧しているものの、今後の大規模地震に向けた耐震化を目的とする架替え事業です。



▲ 国道45号 天王橋の架替え



【H23.3.11 東北地方太平洋沖地震による損傷】

▲ 桁材等の損傷



▲ 支承の損傷(ローラー支承)



▲ 大型車両同士の通行状況

■ 整備効果

天王橋の架替えにより、スムーズな通行が確保され、被災地の早期復興に寄与します。

【三陸沿岸道路】 矢本石巻道路の事業概要について

■事業概要

三陸沿岸道路(矢本石巻道路)は、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路であり、東日本大震災における被災地の復興を支援するとともに、交通混雑の解消を目的に4車線化する事業です。



▲矢本石巻道路の混雑状況

■整備効果

- ・東日本大震災の早期復興に寄与します。
- ・交通混雑が課題となっており、4車線化することで交通混雑緩和が期待されます。



▲矢本石巻道路(新天王橋)の4車線化工事状況